

学校においては、教職員一人一人が経験年数に応じ、自らの役割と責任を自覚するとともに「常に学び続ける」その能力が十分発揮されることにより、自校の課題解決を図ることができる。そのため、教職員が自らの資質能力の向上を図り、その職務を遂行するために自発的、積極的に研究と修養に努めることが重要である。

中頭指導行政の基本方針 総括目標

最多・最大の最高を追求する中頭教育の創造

～地域に根ざし、共に子供の育ちを保障する、持続可能な潤いの「魅力ある学校」づくり～

育成をめざす資質・能力

- 実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」の習得
○未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成
○学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養

Table with 1 column: 国・県の施策. Content includes: 教育基本法第9条, 教育公務員特例法21条, 中教審教員養成部会, 教職員研修事業計画書, 学習指導要領(平成29年), 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)(平成31年), 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画, 沖縄県教育大綱, 沖縄県教育振興基本計画, 学校教育における指導の努力点, 沖縄県学力向上推進本部会議からの提言, 沖縄県学力向上推進施策「自立した学習者」育成プロジェクト, スクールプラン

Table with 2 columns: 重点目標, 重点事項, 取組事項, 研修の視点. Content includes: 「個が光る」中頭の教育を共に創る ～誰一人取り残されない学びの保障～, 1 「わったーわらびの学び」の保障, 2 教職員の資質・能力の向上をめざす組織づくりの推進, 3 カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進, 1 授業研究と日常の授業を結び校内研修の充実, 2 校内OJTの充実による人材育成の推進, 3 授業力向上に向けた公開授業の実施, 4 教科部会や学年会等の充実による授業改善の推進, 1 複雑化・多様化した課題や変化が激しい時代の中で、新しい時代の教育への対応などができる学校教育を実現するために、教員一人一人が実践的な指導力などの資質能力の向上を図る。2 教職員研修は、常に教育実践に基づく実証的、創造的な研修にすることが必要であり、その成果が教育課題の改善に生かされるように推進する。(評価・改善) 3 研修の種類は、基本研修(指定研修と職務研修)、課題研修、専門研修、特別研修とする。4 沖縄県公立学校教員等育成指標に基づき、教員のキャリアステージに応じた教職を支える力、人権尊重を礎とする多様な児童生徒の理解、生徒指導力、授業実践力(養護教諭は学校保健実践力、栄養教諭は食育推進力)、学校運営力などの学校教育の充実に向けた資質能力を確保する。

Table with 1 column: 令和6年度の状況. Content includes: 中頭指導行政重点事項の達成状況調査(R6.12月) ※[]はR5, 「充実している」割合, 〇問いサボ活用・授業改善 小 32.9% [40.9] 中 26.7% [9.7], 〇校長の授業参観 小 8.4回 [8.4] 中 6.0回 [5.7], 〇教頭の授業参観 小 4.7回 [4.4] 中 3.3回 [3.2], 〇補習の時間確保 小 40.3% [49.3] 中 10.0% [9.7], 〇振り返り・学習計画の時間確保 小 17.9% [-] 中 23.3% [-], 〇指導案作成をともなう授業実践の機会 小 65.7% [64.2] 中 36.7% [25.9], ●全国学調の分析・考察、情報共有 小 49.3% [46.3] 中 30.0% [38.7], 〇教科会の充実 中 73.3% [61.3], 〇校内教育支援委員会の充実 小 73.1% [71.6] 中 66.7% [54.8]

教職員の資質・能力の向上をめざす組織づくりの推進

Table with 1 column: 【教職員研修内容(授業)】. Content includes: ①教育課程編成・実施, ②校内における協働体制, ③資質・能力向上、学力向上, ④指導と評価の一体化, ⑤「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実, ⑥外国語教育・国際理解教育の充実, ⑦道徳教育の充実, ⑧特別活動の充実, ⑨特別支援教育の充実, ⑩ICT等を活用した情報教育の充実

Complex block for '沖縄県公立学校教員に求める5つの力'. Includes a central diagram with five overlapping circles: 教職を支える力, 授業実践力, 学校運営力, 生徒指導力, 人権尊重を礎とする多様な児童生徒の理解. Surrounding text lists specific goals for each area.

Table with 1 column: 【教職員研修内容(連携)】. Content includes: ①生徒指導の充実, ②キャリア教育の充実, ③職員の服務、倫理, ④幼児児童生徒の人権, ⑤平和教育の充実, ⑥危機管理, ⑦環境教育の充実, ⑧へき地教育の充実, ⑨幼児教育の充実, ⑩学校図書館教育の充実, ⑪教員の地域連携の充実

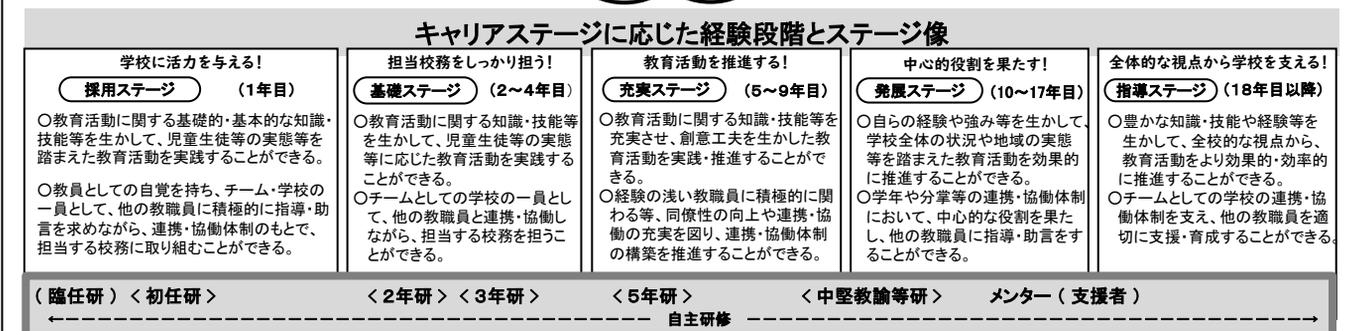


Table with 2 columns: 「問い」と「対話」が生まれる研修会、指導と評価の一体化を図る授業改善等による資質能力の向上. Content includes: 〇小グループによる指導案検討会を経て全員模倣授業実施, 〇先輩教師による示範授業の参観及び研究協議, 〇グループ研修の充実, 〇課題研究報告書の作成, 〇指導案検討会、検証授業の公開と授業反省会を校内で実施, 〇授業研究会の記録, 〇同一教科等小グループによる指導案検討、模倣授業を実施, 〇特定課題研究に係る検証授業報告会実施, 〇授業研究・改善の取組における中心的役割, 〇学年や分掌等の連携・協働体制における中心的役割と教職員への指導助言, 〇授業に対する適切な指導助言や授業研究・改善の風土醸成, 〇全校的な視点で学校の連携・協働体制への支援及び教職員への適切な支援・育成

Table with 2 columns: めざす教職員像. Content includes: 〇人間性豊かで、教育者としての使命感と幼児児童生徒への教育的愛情がある, 〇幅広い教養と教職に関する専門的知識・技能を有し、常に学び続ける実践的指導力がある, 〇自然・歴史・文化に誇りを持ち、多様性を受容し、グローバルな視点を兼ね備えている, 〇豊かなコミュニケーション能力を有し組織力を活用できる総合的な人間力を持つ

Table with 2 columns: ★研修視の転換を図り、「相似形の研修」の実践を活かしたエージェンシーの発揮, 主体的・対話的で深い学びを推進する教師力. Content includes: 〇「相似形」の研修を基本とする校内研修、教科会、学年会等、同僚やメンター(支援者)とのかわりによる組織的な取組(研修に対する共通言語の創出), 〇授業研究会を実施するとともに、研修の成果を振り返り、実際の授業に生かす(個別最適な学び、ICT機器の利活用), 〇指導と評価の一体化のために「単元の評価規準」を作成する(学習・指導改善), 1 子どもの姿や発表を丁寧に、聞く(捉える), 2 子どもの思いや考えを理解する(解釈する), 3 本時のねらいとの関係を考える(照合する), 4 どのように振る舞うか決める(判断する), 5 分かりやすく振る舞うための発問したりする(振る舞う)

カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進

Complex block for implementation: 各学校の取り組み, しっかり, じっくり, たっぷり をキーワードに, 問い, 対話, 取り組みの共有・参考は 「わくどき なかがみ ポータルサイト」

